



京都大学



オンラインセミナー

京大人文学教室

『西田幾多郎生誕150周年』 『西田幾多郎の哲学とは』

01 1月13日(水)18:00-19:30

西田幾多郎の『善の研究』とは
どういう書物か

藤田 正勝 京都大学 名誉教授

02 1月29日(金)18:00-19:30

京大での西田幾多郎講義ノートを開く
～全集別巻刊行までの軌跡～

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館 館長

03 2月16日(火)18:00-19:30

自由と自然(おのづから)—親鸞と西田

安部 浩 京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学専攻 教授

04 3月10日(水)18:00-19:30

西田哲学の場所
—「極東」と「極西」が重なる場所

杉村 靖彦 京都大学大学院文学研究科思想文化学専攻 教授

ライブ配信+見逃し録画配信

京大人文学教室 オンライン(Zoom)開催

- パソコンなどの端末、ネット環境が必要です。
- クレジットカードで決済いただいた方には、視聴方法について開催前日までに申込時のご登録アドレスにご連絡いたします。
- kensyu@kyodai-original.co.jp からのメールを受信できるように設定してください。
- ライブ配信後、後日、オンラインサイト上で録画配信します。(視聴には申込が必要です。2021年4月末まで視聴可能)
- お支払いはクレジットカードのみとなります。その他のお支払方法は承っておりませんので、ご了承ください。

受講料 各回:1,100円(税込)、全4回(一括):3,960円(税込)

対象 どなたでも(専門的な内容が含まれるため高校生以上を推奨します)

申込方法 ホームページよりお申し込みください。
<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=9769>



申込締切日 各回、開催日の前日
※申込締切日を過ぎてのお申込みについては、見逃し録画配信のみご視聴いただけます。

主催 京大オリジナル株式会社

共催 京都大学大学院文学研究科、京都大学大学院人間・環境学研究科、京都大学人社未来形発信ユニット

問合せ先 京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部
mail▶kensyu@kyodai-original.co.jp

京大人文学教室

京都大学は多数のノーベル賞受賞者を始めとする理系のイメージが強いかもしれませんが、京都大学の人文・社会科学分野は非常に長い歴史と顕著な研究成果を挙げています。

「人間とは何か、社会とは何か」という根本的な問いに対して、幅広い分野での研究が進められています。

「京大人文学教室」は、そのような「人間とは何か」という人類の最も根本的な問いに対して京大人文学研究の成果と知見を、人文学に深い興味をお持ちの方や学び直したいとお考えの方、自らの進路の参考にしたいという大学生や高校生の方に、お届けしようとするものです。

初回となる今回は、京都大学の人文学でも最も有名な研究の一つともいえる「京都学派の哲学」の中、西田幾多郎生誕150周年を記念して、「西田哲学」を取り上げます。有名な「善の研究」における「純粹経験」の哲学から後期の「絶対矛盾的自己同一」の思想まで、西田の哲学の変遷を4名の先生方の講義を通して振り返ります。

01

1月13日(水)18:00-19:30

西田幾多郎の『善の研究』とは
 どのような書物か



講師
藤田 正勝
 京都大学 名誉教授
 専門: 哲学・日本哲学史

日本でもっともよく知られた哲学書は西田幾多郎の『善の研究』(1911年)です。

それは日本の哲学が自立した歩みを始めたことを示す画期的な著作でした。そこで西田

は、われわれはどのような世界観・人生観をもつべきなのかという問題をめぐって真剣に思索しました。それはわれわれに深い感銘を与えます。この書の特徴やそれが後世に与えた影響などについて、またそれは現在海外でも高く評価されていますが、その現代的意義などについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。『善の研究』(岩波文庫版)に一度目を通されることをお勧めいたします(必須ではありません)。

02

1月29日(金)18:00-19:30

京大での西田幾多郎講義ノートを開く
 ～全集別巻刊行までの軌跡～



講師
浅見 洋
 石川県西田幾多郎記念哲学館 館長
 専門: 宗教哲学、日本哲学、死生学

2020年9月23日に刊行された西田幾多郎記念哲学館(代表:浅見洋)編『西田幾多郎全集 別巻』(岩波書店)には、西田幾多郎が京都帝国大学赴任(1910年)直後の講義のために記した「倫理学講義ノート」と「宗教学講義ノート」を収録しました。未公開の水損・汚損したノートを公開するプロセス、意義とともに、『善の研究』刊行(1911年)前後の西田の思索の展開、京大での講義風景を紹介したいと思います。

03

2月16日(火)18:00-19:30

自由と自然(おのづから)
 —親鸞と西田



講師
安部 浩
 京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学専攻 教授
 専門: 哲学
 (存在論、環境哲学、日本哲学)

人間の自由は自然と融合し、一体的である。そうした考え方の中に、日本人の「自由」概念

の独自性があることを九鬼周造は指摘しました。本講義では、親鸞の思想、及び西田幾多郎の親鸞解釈に即して、この特異な自由観の内実を詳らかにしていきたいと思います。そしてその解明を通して、京大時代以後の西田後期哲学の要所を照射することが、本講義の最終目標とするところです。

04

3月10日(水)18:00-19:30

西田哲学の場所
 —「極東」と「極西」が重なるところ



講師
杉村 靖彦
 京都大学大学院文学研究科
 思想文化学専攻 教授
 専門: 宗教哲学、現代フランス哲学、
 京都学派の哲学

西田哲学は、明治以来の西洋哲学の摂取の中で初めて登場した、日本独自の哲学と目されています。しかし、西田自身が追究したのは、決して「日本」哲学や「東洋」哲学ではなく、形容詞抜きの「哲学」であって、全てのものの「根柢」であるはずの「絶対無の場所」に立ち、「世界的世界」を眺め渡そうとするものでした。この西田哲学という営み自体は、一体どのような「場所」に位置づけられるのでしょうか。この講義では、「極東」と「極西」という地理的・歴史的概念を手引きとして、この問いに迫ってみようと思います。それによって、西田哲学がどこから来て、どこへ行こうとするものなのか、その「世界哲学のフォーラム」(J・W・ハイジック)における独自の位置と可能性を垣間見ることができるといえます。